

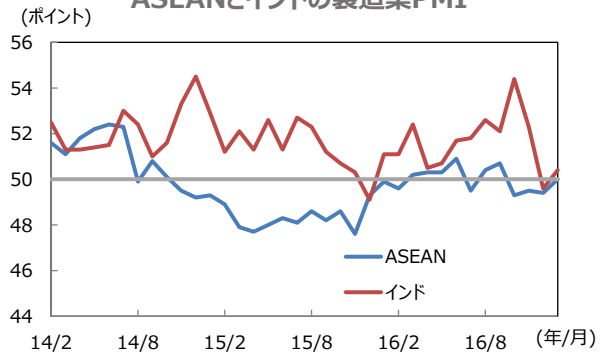
**今日のトピック** 持ち直したASEANとインドの製造業PMI

**株式市場の上昇を期待**

**ポイント1** ASEANのPMIが50回復  
4カ月ぶりの50回復

- 1月の東南アジア諸国連合（ASEAN）製造業PMI（購買担当者景気指数）は50.0と、前月の49.4から改善し、景気判断の節目となる50を4カ月ぶりに回復しました。
- 国別ではフィリピンやベトナムが比較的高水準を維持したほか、インドネシアが4カ月ぶりに50を回復しました。タイはプミポン前国王の死去に伴う混乱が収まり、2カ月連続で50を上回りました。

ASEANとインドの製造業PMI

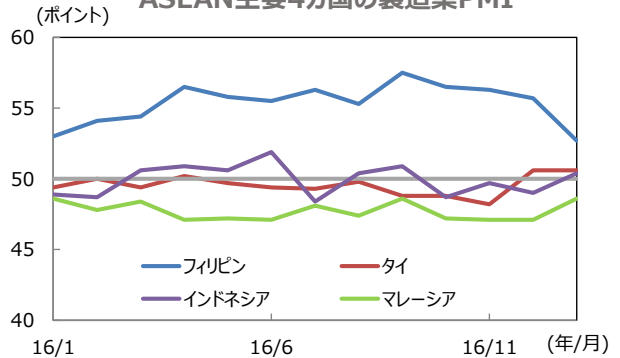


(注) データは2014年2月～2017年1月、製造業PMI。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**ポイント2** インドのPMIも50回復  
高額紙幣廃止の影響が弱まる

- インドの製造業PMIは、12月に49.6と、1年ぶりに50を割り込みましたが、1月は50.4と、50を回復しました。モディ政権による高額紙幣の廃止と新札への交換に伴う混乱により、生産や雇用が低迷したことで、12月はPMIが急落しましたが、早くも持ち直しの動きが見られました。
- 高額紙幣廃止に伴うインド経済の混乱は徐々に収まり、年度末の3月には収束に向かうとされます。

ASEAN主要4カ国の製造業PMI



(注) データは2016年1月～2017年1月、製造業PMI。  
(出所) Bloomberg L.P.のデータを基に三井住友アセットマネジメント作成

**今後の展開** ASEANやインドの株式市場の上昇を期待

- 1月の製造業PMIは、中華圏の「春節」休暇の影響から悪化しやすい傾向があるにもかかわらず、多くのアジア地域で堅調な動きとなりました。アジア地域の製造業は回復基調と考えられます。マレーシアの製造業PMIは依然50を下回っていますが、今後の財政拡大が期待できるため、持ち直す方向と見られます。
- アジア株式市場は、今年に入り、中国経済の安定やアジアからの資金流出懸念の後退を背景に上昇しました。相対的に経済が好調なASEANやインドの株式市場は、今後も堅調な推移が期待されます。

**ここもチェック!** 2017年02月03日 **インドの2017年度予算案**  
2017年01月17日 **アジア・オセアニアの株式市場（2017年1月）**

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。